

宮城県大崎市内での排水活動を完了させ、 排水ポンプ車・照明車が帰還

台風 18 号から変わった低気圧による出水により決壊した宮城県大崎市の渋井川周辺の排水のため、北陸地方整備局は米袋排水機場において排水ポンプ車 3 台・照明車 2 台で排水活動を行いました。

信濃川河川事務所では排水ポンプ車・照明車各 1 台（大河津建設（株）6 名）により 9 月 13 日（日）未明から排水活動にあたり、同日夕方には水位が下がったため排水運転を停止、現地で水位状況を監視していましたが、その後の水位上昇もないことから、9 月 15 日（火）14 時 30 分に帰還しました。



排水活動を行った大河津建設（株）の 6 名と排水ポンプ車

※今回の台風 18 号から変わった低気圧による出水に対する、信濃川河川事務所の対応時系列を以下に記載します。

- 9 月 10 日（木）13:30 阿賀川河川事務所に応援要員 1 名を派遣
- 9 月 11 日（金）11:15 阿賀川河川事務所へ派遣した応援要員 1 名が帰還
- 9 月 12 日（土）09:40 東北地方整備局へ排水ポンプ車 1 台・照明車 1 台を派遣
- 9 月 14 日（月）11:30 関東地方整備局へ TEC-FORCE1 班 4 名を派遣



問い合わせ先：北陸地方整備局信濃川河川事務所 総務課
広報担当 専門官 小林 正夫（内線 216）
TEL：0258-32-3020
FAX：0258-33-8168